

蒲郡市民病院 地域医療連携室だより vol.20

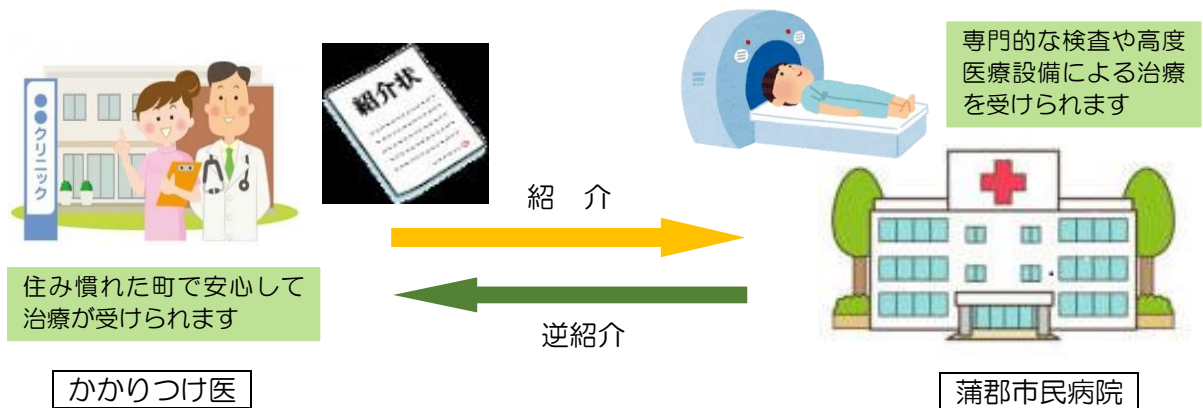
発行／地域医療連携室 TEL 0533-66-2307 / FAX 0533-66-2308

～ 当院では、逆紹介を進めています ～

蒲郡市民病院では、地域医療連携を推進しております。地域の医療機関との連携を図るため、紹介状による受診と逆紹介による受診を推進し、地域の皆様に最適な医療サービスを提供できる体制づくりを行っております。

地域の医療機関（かかりつけ医）さんからのご紹介により、当院で専門的な検査や高度な医療設備での治療を受けられた後、患者さんの病状が安定した場合は、当院から紹介元のかかりつけ医さんへの逆紹介を進めています（※病気の状況や治療の専門性、通院のしやすさなどを考慮して、別の医療機関を紹介させていただくこともあります）。

逆紹介後も市民病院で定期的な検査を受け、経過観察をすることもできます。もし、具合が悪くなった時には、かかりつけ医さんからのご紹介で、再度、市民病院で診察・治療をさせていただきます。住み慣れた町で、退院後も安心して暮らしていただくために、逆紹介の推進と地域医療連携に力を入れています。



8月1日から
退院支援加算1
の算定が可能と
なりました

『退院支援加算1』の届出をしました

近年「退院調整看護師」のニーズが高まっています。蒲郡市民病院でも4名の専従看護師を配置し、地域の保健・医療・福祉サービスとも連携しながら、退院へと向う患者さんとその家族をサポートしていく役割を担っています。

入院患者さんの退院支援については、平成28年4月の診療報酬改定により、「退院支援加算2」での算定を行っていましたが、8月からは「退院支援加算1」の算定が可能となりました。これにより地域連携パスを使用した場合に「地域連携診療計画加算」として算定が可能となりましたので、ご報告させていただきます。

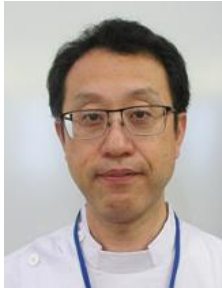
高齢化が進む蒲郡市において、患者様が安心・納得して、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるよう積極的に医療機関等の連携を推進してまいります。

裏面もご覧ください

新規赴任医師のご紹介



新しく赴任されました。よろしくお願いいたします。



7月1日～
外科（常勤）
若杉 健弘 医師
(わかすぎ たけひろ)
診療/毎週火・木曜日

消化器外科を担当しています。胃がん治療を専門としており、早期がんでは腹腔鏡下手術を、進行がんでは化学療法と手術を組み合わせた集学的治療を軸に積極的な治療に取り組んでいます。

- ◆出身大学/名古屋市立大学（消化器外科）
- ◆前勤務地/神奈川県立がんセンター（胃外科）

在宅ケア見本市 開催のお知らせ

長年住み慣れた自分の家で、「病気療養したい」、「介護を受けたい」と思うのは、誰しもが望むところです。そんな思いの方

を手助けする在宅ケア用品や介護用品も日々新しい商品が開発されております。今年も専門業者による最新商品を展示いたします。また、介護食では誤嚥を防ぐ「やわらか食」や「とろみ食」の試食ブースも設置します。ぜひ、お立ち寄りください。

※出展協力業者（50音順）蒲郡眺海園、三州商会、スギ薬局、トーカイ、ヤガミ、よこやま

◆とき 10月27日(木)
9時～15時

◆ところ 蒲郡市民病院
ホスピタルモール(1階)

地域医療連携ミニギャラリー

ギャラリーコーナーを地域医療連携室前に設け、ご来院の皆様から大変ご好評をいただいております。毎回、地域の医療機関や施設などからご紹介いただいた方のすばらしい作品を展示しています。

今回は水墨画を展示します。120号（横幅1.8m超）の大作です。ご来院の際は、ぜひともご鑑賞ください。 **展示期間 9月1日～11月1日**

第2回ミニギャラリー作品 「収穫」



出品者 長田 広子様
(三谷町在住)

『地域医療連携室だより』が第20号を迎えました。

平成24年9月7日に第1号の連携室だよりを発行して以来、今号で第20号目を迎えました。蒲郡市民病院のホットな情報を開業医の先生方にお伝えするよう毎号心がけて編集にあたってまいりました。この間、開業医の先生方のご理解、ご協力のもと、ネットワークづくりも進み、顔の見える関係づくりも進んでいるものと思います。おかげをもちまして、当院への患者さまの紹介件数も年々増えてまいりました。これからもさらに愛される『連携室だより』をめざして、職員一同でより一層がんばってまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

